# 新津の発展に大きく貢献

## 勤労感謝の日に「市政功労者」を表彰

11月23日、晴れの表彰を受けられた皆さん

十一月二十三日の勤労感謝の日に、図書館視聴覚ホールで「市ほう賞式」が行われました。

今年「ほう賞」を受けられたのは、市民の安全を守り続けている消防団の方や、社会福祉の増進に尽くされた方など個人百五名。また「布の絵本」づくりで、子どもたちに夢を与えた新津高校家庭科クラブなど九団体も表彰されました。

なお次のページで、今回表彰された市川昭一さん（覚路津）のお話を紹介します。市川さんは、技術的にも難しいといわれるチューリップを水田裏作に取り入れ、優良品種の普及に努められるとともに、新津を著名なチューリップ産地として発展させた功績で受賞されました。

（木伏フジヲウさんは、十一月十九日に亡くなられたため、二十日に家族の方に表彰状をお渡ししました）

### 今年は百五人、九団体を表彰――＊

今年表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

（順不同・敬称略）

**【市議会の議員として十年以上在職した方】**

伊藤　文男（秋葉二）

**【市の委員会の委員として十年以上在職した方】**

農業委員

徳永豊三郎（大安寺）

小柳　惣藏（西島）

公平委員

櫻井幸三郎（本町三）

**【市の非常勤の特別職に十年以上在職した方】**

公民館運営審議会委員

桑原美恵子（岡田）

体育指導委員

阿部　諶市（結）

区長

清野　秀夫（古田）

髙橋　與吉（田島）

筒井　芳男（秋葉二）

加藤　富一（本町四）

風間　吉平（川口）

学校医

小林　一彦（新町一）

農家組合長

荒木　誠七（中新田）

吉田　寅一（朝日）

消防団関係の方

捧　新市（草水町二）

青木　誠次（古田）

淺見　幸一（大安寺）

井浦　孝次（中新田）

渡邊　正敏（中新田）

石川　孝司（満願寺）

小嶋　直文（満願寺）

五十嵐孝一（満願寺）

樋口慎一郎（川口）

阿部　栄一（結）

栗原　利夫（荻島一）

稲垣　誠一（覚路津）

佐野　哲夫（塩谷）

伊藤　二作（古津）

小川　祐市（古津）

平野　亮一（大鹿）

加藤　吉弘（子成場）

加藤　正（子成場）

綱嶋　均（川根）

高橋　仁（川根）

土田　久（下新）

山崎　孝雄（六郷）

小島　勝義（市新）

山村　武（金屋）

渡辺　清吉（新郷屋）

上田　章雄（浦興野）

古田　重衛（梅ノ木）

伊藤　正男（蒲ケ沢）

田村　新一（蒲ケ沢）

石井益次郎（古津）

四柳　茂（割町）

田辺　久（市之瀬）

浅見　勝廣（大安寺）

高野　茂（柄目木）

**【市職員として二十年以上在職した方】**

藤田　勇（中新田）

廣瀬　岩男（梅ノ木）

栗原　一郎（荻島一）

鈴木喜千郎（古津）

樹田　澄雄（車場二）

生田　賢一（東金沢）

井上　兼男（中新田）

小林　茂樹（小戸下組）

鷲沢　紀子（結）

大石　紘子（滝谷町）

石井美津子（山谷町二）

土田　岩男（緑町）

土田　敏雄（蒲ケ沢）

佐藤洋一郎（横越村）

今井　末吉（横越村）

中山　徳一（山谷町二）

風間　一二（新郷屋）

松本堅太郎（中野一）

酒井フミ子（北上二）

上田　禮子（大鹿）

荒木　ムネ（金沢町二）

お買物、ご用命は市内で

―★贈答品に、新しい主役登場★―

にいつ　フリアン

Cake & Coffee OSAKAYA の Friends

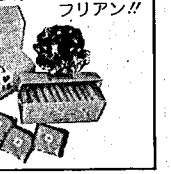
―フリアンはアーモンドとバターの味―

1箱（12ケ入）1,000円・2箱入 2,100円

オーサカヤ

新津市本町2　TEL 2－0112

…何？オールド いや、にいつオーサカヤの フリアン!!



記念品と表彰状が贈られました

**【教育、文化の向上に尽くされた方】**

小熊　熊一（中村）

西潟　政市（本町四）

斎藤　堯（村松町）

佐藤　栄策（村松町）

菅家　逸郎（村松町）

笠原　静子（秋葉一）

吉田　定子（南町）

**【保健衛生の向上に尽くされた方】**

澤田　レイ（大鹿）

渡辺　宏（新潟市）

**【産業振興に尽くされた方】**

市川　昭一（覚路津）

故髙野二三男（蔵曽根）

**【社会福祉の増進に尽くされた方】**

吉田　俊一（大関）

堀　賢一（塩谷）

古川　百作（川根）

岩橋　アツ（新金沢町）

藤井　和雄（金沢町二）

阿部　春子（結）

佐藤　ハル（新栄町）

石崎　石衛（北上二）

石川　武雄（中新田）

押見　重義（中沢町）

菊地　市郎（草水町二）

**【市行政に協力されてその功績が顕著である方】**

財団法人BSN教育文化振興基金

新津ロータリークラブ

新津中央ロータリークラブ

新津ライオンズクラブ

チョロチョロ会

新津商店街協同組合連合会

ガラクタ市実行委員会

㈲川松商店

にいつフードセンター

中野　松葉（村松町）

太田　藤吉（本町三）

酒井　三直（朝日）

寳藤　真史（下興野町）

木伏フジヲウ（金沢町一）

神田　春一（本町二）

新潟県立新津高校家庭科クラブ

中野　績（蒲ケ沢）

坂爪　孝晴（車場四）

稲垣清戊郎（七日町）

田邊　ヨリ（新栄町）

山田　セツ（田家一）

鈴木美和子（山谷町二）

新津民踊部

坂井　清（新金沢町）

幸田　顕（吉田町）

「みんなから喜ばれるチューリップを」という市川さん

## 喜ばれる品種を

市川　昭一　さん　覚路津　五十四歳

「チューリップ栽培は稲に比べて収益性が高いですよ」という市川さんが、水田の裏作としてチューリップの球根栽培に取り組まれたのは昭和三十六年。農業基本法が制定され、農家の多角経営が叫ばれた頃だといいます。「将来、稲作だけでは農家経営はやっていけないと思い、稲作に支障がなく、また競合しない作物を求め、先進農家の視察や普及所の指導でチューリップを選びました」

しかし、地理的環境としては、覚路津は新津一の低湿地帯で、恵まれているとはいえず、たんぼにチューリップという考えも初めは理解されにくいところもあったそうです。

当初は二～三軒で行ったチューリップ栽培ですが、徐々に仲間も増え、昭和三十九年には部落の球根組合を作り、栽培農家の指導を行い、技術の向上に努められました。その後、荻川農協の支援で荻川農協球根部ができ、生産・出荷体制が整いました。

「チューリップは連作がきかないので、出荷後一年はたんぼを休ませていたんですよ。転作が大きな問題となっていますが、それを先取りしたようなものです」といいますが、今ではチューリップのほかにクロッカスや水仙などの栽培も行い、たんぼは休むことなく稲と球根を栽培しています。

順調に伸びてきた球根栽培ですが、チューリップなどの園芸作物は稲に比べて病気になりやすく、栽培技術は難しかったといいます。しかし、それも持ち前の研究熱心さで技術の向上と優良種球の導入による品質の改善で克服されました。

最近、転作問題によって球根栽培が見直され、大量に栽培されるようになり、球根業界もだぶつき気味ということですが、消費者の皆さんから喜んでいただける優良品種の出荷に努めるとともに、展示圃による研究で新津に適する品種を求め、日夜努力されています。

また球根作りの若い後継者も育っており、「もう私は引退しても……」という市川さんですが、「新津のチューリップなら心配ない」といわれる優良品種を作っていきたいですね」とチューリップ産地新津の今後について語ってくれました。

お買物、ご用命は市内で

らくらくクレジット3～20回払い!!

写真のよきパートナー

コダカメラ

新津市本町2丁目　☎2－0583

慶弔用生花，生け花材料は

㈱川名花店へ

本町3丁目　☎3－1187(代)

真心を花にたくして贈る店